



浅倉須眞子さんに聞く

# 人物スケッチチ ワンポイントアドバイス①

北京五輪絵手紙展では、選手への応援絵手紙や、大会の熱戦の様子を実況中継する絵手紙を募集しています。独自の視点で様々なシーンをかいた絵手紙が届くと思いますが、人物が登場する場面が多いのではないでしょうか？そこで、数多くの人物スケッチをかいている浅倉須眞子さん（日本絵手紙協会講師）にお話を伺いました。

## かいてみよう 顔・体・心

### 顔

「顔をかくときは、目からかき始めることが多いですね。そしてまゆ、鼻、口、輪郭とかいていきます。まず顔のパーツをしっかりと見てからで、輪郭からかいてゆくよりも顔の特徴を捉えやすいです」



### 体

「まず、気になるところ、目が行くところから。例えば、腕組みしている人の腕からかき始めて、上半身、そして顔。腹部、脚という風にえがく範囲を広げてゆきます」

### 心

表情・感情

「顔の表情、たとえばハの字に下がった悲しい眉毛、泣きそうな時の字口などは感情が表れやすいですね。」

◆困った！ハガキに収まらない！  
「絵手紙ははみ出そうと言います。はみ出すとこの先はどうなつてるんだろう」と想像できます。ですから、ハガキの中に收めることばかりに気を取られる必要はないと思います。もちろん、一枚二枚三枚と繋げてもいいですよ」



## 動

### ポイントを描く

①真っ直ぐより斜め  
全体より一部分

「真っ直ぐよりも斜めが前かがみになると感情の起伏と体はつながっています。顔だけではなく、体の一部も一緒にかくことでよりその人の感情が伝わりやすくなると思います。また、背景を少し入れるだけで、雰囲気が伝わる、どんな瞬間の表情なののかわかり、よりリアルになります」

カバンからかき始める  
「走っている次の一步が出そうだ」と想像しがちですが、走っている次の一歩が斜めにするだけで動きが違います。斜めにするだけで動きが違います。



②後姿とシルエット  
でよりかきやすく  
「後ろ姿を切り取るようになかくと、比較的かきやすいですし、「背中で語る」というように肩の下がり具合や足の位置で動きや感情も表現できます。それでも難しいと感じる時は、シルエット

スッカースを斜めにかいて動きを出す  
「JR新江ノ島線 下行 混雑時計」  
手前の人をかき、周囲をシルエットでかく

「じっくりと筆でかくこともいいですね。今回の北京オリンピックの応援絵手紙や大会の様子をかく実況中継の絵手紙だと、テレビで動いている場面を見てかくことが多いです。一瞬の動きをみてかくには、はやくかくことを求められるかもしれません。そんな時は、筆だけにこだわらず、ペンや鉛筆、ダーマーなども便利です。ペン先の太さも種類がいくつかありますので、力強い線をかきたい時は太めのペンと使い分けもできます。鉛筆は力の入れ方や角度を変えることで線に強弱が出ます」

「顔入りのペンなら色をつけても水に流れませんし、紙の上でなめらかに線が引けます。でも、急いでかく時には便利です。ペン先の太さも種類がいくつかありますので、力強い線をかきたい時は太めのペン、観客など細かなものをかく時は細めのペンと使い分けもできます。鉛筆は力の入れ方や角度を変えることで線に強弱が出ます」

## △道具のヒント△

## 二つの力 絵と言葉

## 添える言葉が 絵を補う

「人物や大会の様子を実際に見ていてもユニフォーム・ラケット・ボールといった競技の用具、観客席の様子、オリンピックの五輪のマークをかくだけでも思いを伝えることができます。スポーツに関連した絵でなくとも、野菜でも花でもいいと思います」

ポイントの  
まとめ

- ①顔をかくときは、  
目・鼻・口などのパ  
ーツからかくと、特  
徴をとらえやすい

②顔だけでなく、感情  
によつて力の入る肩  
や手を入れると伝わ  
りやすい

③全身をかくときは、  
目が行くところや気  
になる箇所からかき  
始め、上下左右にひ  
ろげてゆくとよい

見えない部分が想像力を高める  
「はみ出しの効果や、部分がきの効果も有効に活用しましょう。水泳のバタフライだと水から出た頭と手、水しぶきをかけば伝わりますね。

添える言葉で応援の気持ちや、オリンピックの感動が伝えられま  
すからね」

かき切れない程  
のスピード感



阿波踊りの足だけを入れて、想像を膨らませる

## 何人知っていますか？北京オリンピック出場選手一覧表

(四月末迄の発表分より)

\*次回は、田口孝夫さん  
に伺います。

色んな書き方のある  
絵手紙で、新しい発見  
をしてください。  
皆様からの絵手紙を  
お待ちしております。

